

広
報

あつま

2005.

1

NO. 629

謹
賀
新
年

今
月
の
内
容

年頭のごあいさつ
民生委員・児童委員のみなさん
「あつま」自主・自律(立)行動方針
まちづくり町民アンケート調査結果の公表
ニュース・パッケージ

ふるさと人間ギャラリー
みんなの広場
はなしの・いずみ
健康情報
今月のお知らせ

年頭のごあいさつ

厚真町議会議長 河村忠治

自律のまちづくりを目指して

町民の皆様、明けましておめでとうございます。
希望に満ちた輝かしい新春を、健やかに迎えの
ことと心からお慶び申し上げます。

日ごろから、議会に対して温かいご理解とご協力を
賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、イチロー選手の歴史に残る快挙
や、アテネオリンピックでの日本選手の活躍、また身
近なところでは、駒大苫小牧高校野球部の全国制覇な
ど、スポーツ分野での明るい話題が多かったのであり
ますが、一方では、過去最多となった台風の上陸によ
る風水害、新潟県中越地方の大地震など、相変わらず
自然災害が猛威を振るった一年でもありました。犠牲
となられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、被災され
た皆さまには心からお見舞いを申し上げます。

さて、こうした中、本町におきましては、1月早々
に猛吹雪に見舞われるなど、先行きが懸念されたもの
の、その後天候は順調に推移し、特に夏場は近年にな
い好天が続く、また心配された台風の影響も最小限に
食い止められるなど、4年ぶりに豊穡の秋を迎えるこ
とができました。

なんと言っても、基幹産業であります農業に活気が
生まれなければ、本町の活性化は望めません。本年の
この成果は、天候に恵まれたことはもちろんでありま
すが、農家の皆さんをはじめ、それを支える方々の努
力のたまものであり、出来秋をお喜び申し上げると
ともに関係の皆様のご尽力に対しまして、心より感謝
を申し上げます。

また、春先には、公共下水道浄化センターの通水式
を皮切りに、新装なった京町保育園の開園、総合ケア
センター「ゆくり」のオープン、さらには表町公営住
宅への入居が始まるなど、町民の生活環境や福祉の向
上のため大きな役割を果たす重要施設が矢継ぎ早に完
成し供用が開始されました。

このように昨年の本町は総じてよい1年であったか
と思いますが、我が国の社会経済情勢は、わずかなが
ら景気回復の兆しはあるものの、まだまだ厳しい状況
下であり、激動する国際情勢とあいまって大きな変革
期を迎えております。

本町では昨年、議会と町長が相次いで自主・自立の
まちづくりを宣言し、荒波に漕ぎ出す道を選択いたし
ました。議会では、「自律のまちづくり調査特別委員会」
を設置し、議会自らの改革はもとより、町の行財政改
革全般にわたって現在熱い議論を闘わせております。

これと併せて本年は、新しいまちづくり総合計画の
策定に向けて、大いに論議を高めなければならない年
でもあります。人間性豊かな潤いと活力のある町づく
りを目指して、町民の皆様の意思を反映するために積
極的に取り組んでまいり所存であります。

どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜ります
ようお願い申し上げますとともに、町民の皆様のより一
層のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年の
ごあいさつといたします。

厚真町長 藤原正幸

厚真町新総合計画の最終年 さらなる飛躍をめざして頑張ります

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。
輝かしい平成17年の新春をご健勝で迎えられたこと
を、心からお慶び申し上げます。

平成16年を顧みますと、全国高校野球選手権大会で
駒大苫小牧高校が優勝し、優勝旗が津軽海峡を渡ると
いう快挙に、全道民が歓喜に沸きあがったところであ
ります。

半面多くの台風の上陸、10月には新潟県中越地震な
どによる災害で、多数の死傷者がでたことは誠に残念
なことであります。

厚真町では平成16年10月17日、名誉町民である前町
長 谷内信雄氏が亡くなりました。厚真町の偉大な
指導者を失ったことは誠に残念であり、ここにあらた
めて町民の皆さまとともに心から弔意を表します。

基幹産業の農業、特に水稻は6月以降の高温と晴天
が続いたことと収穫時に上陸した台風の影響が比較的
少なかったことにより、4年ぶりに豊穡の秋を迎えら
れたことを心よりお慶び申し上げます。

今、厚真町では厚幌ダムの建設、国営農業用水再編
対策事業、道営圃場整備事業、厚真川河川改修事業と
いった大型事業が着々と進められており、これが完成
いたしますと、水害の解消と農業生産基盤が整備され、
農業の経営安定につながるものと確信しております。

そのためにも議会、関係機関、さらに町民と一体と
なって早期完成に向け全力を傾注していく考えであり
ます。

地方公共団体を取り巻く環境は、地方分権、三位一
体改革、市町村合併、道州制の問題等かつて経験した
ことのない厳しい状況にあります。

特に市町村合併につきましては、厚真町の将来にと
って避けて通ることのできない課題であります。町
民の皆さんの生活安定と幸せを考えると、当面は自
立でいくことが最善の選択肢であると判断いたしました。

これからの町づくりは、行政と町民の皆さんが一体
となって考え行動する協働の町づくりであります。

厳しい財政状況にありますので、今年はしっかりと
行財政改革を進めていかなければなりません。そのた
めには町民の皆さまにもご理解とご協力をいただくこ
とになると思います。

平成17年は、本町の町づくりの指標である厚真町新
総合計画の最終年にあたります。

過去の実績を検証するとともに、仕上げる年である
との自覚を持ち行政を執行していく決意であります。

結びになりますが、本年も町民各位のご協力とご支
援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さ
まの一層のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭の
ごあいさつといたします。



地域の福祉活動に携わる

民生委員・児童委員の皆さん

平成16年12月1日付けで、新しい民生委員・児童委員として、20の方々
が厚生労働大臣から委嘱されました。

任期は3年で、平成19年11月30日まで
となっています。

●民生委員・児童委員とは

民生委員は、地域福祉の増進のために地域住民を支援する居住地区から選出され、厚生労働大臣から委嘱を受けた方々です。

すべての民生委員は、児童福祉法により児童委員を兼ねています。

また、主に児童に関わる相談・支援をする「主任児童委員」もいます。

●民生委員・児童委員の職務

住民の生活状況の適切な把握、要支援者に対する相談・支援、福祉サービスの情報提供、社会福祉事業者などとの連携・支援、関係行政機関への業務協力など、社会奉仕の精神に基づいて活動を行っています。

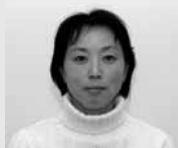
- ▶高齢者福祉
- ▶母子・寡婦福祉
- ▶児童福祉
- ▶生活保護
- ▶障害者福祉

●相談方法

自分が住んでいる地域の地区担当委員や（児童の問題については）主任児童委員にご相談ください。



軽舞・大橋 正治
☎ 8-2552
《豊丘・軽舞》



上野・川本 清美
☎ 7-3518
《上野・富野・豊沢（ルーラルを除く）》



錦町・宮副恵美子
☎ 7-2771
《南町・西町（表町団地を除く）》



本郷・矢部 雅則
☎ 7-2181
《本郷・向陽団地》



幌内・小納谷睦子
☎ 9-5154
《幌内》



鹿沼・小倉 貞夫
☎ 01454-2-4702
《鹿沼・清住》



共和・伊東 悦子
☎ 8-2172
《共栄・共和・共和団地》



表町・大西 武雄
☎ 7-2170
《新町・西町（表町団地）》



本郷・本田 博子
☎ 7-2562
《本郷団地》



富里・荒井 章一
☎ 9-5237
《富里・高丘・吉野》



富野・細川 隆雄
☎ 8-2463
《主任児童委員》



上厚真・金谷千代子
☎ 8-2412
《上厚真》



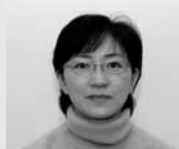
豊沢・中谷 英子
☎ 7-2830
《ルーラル》



幌里・赤坂 弘
☎ 7-3553
《幌里・幌里開拓・本郷（厚真福祉施設）》



朝日・中村 清
☎ 7-2641
《桜丘・朝日》



表町・池川 美保
☎ 7-3119
《主任児童委員》



上厚真・館山 睿
☎ 8-3435
《厚和・浜厚真・鯉沼》



美里・川岸 長治
☎ 7-3252
《美里・豊川》



本町・飛谷 文子
☎ 7-2148
《東町・北町》



宇隆・中川 信保
☎ 7-3649
《東和・宇隆》

新しい民生委員児童委員さん（敬称略）

《》は担当区域（自治会）です。
※表町団地については、暫定^{さん}の担当となります。

厚真町まちづくり町民アンケート調査

写真は厚真高校3年生34人
若者たちに
誇れるまちを目指して

※本文と写真の配置は関係ありません。

意見・提案などの自由記載欄への投稿内容を公表します②

十月五日から実施しましたアンケート調査にご協力をいただきありがとうございました。

十二月号の八十八件に引き続き、一月号でも四十九件の「意見・提案の自由記載欄」に提言いただいたご意見などを掲載いたします。最終的な調査結果は、平成十七年三月をめどに、広報「あつま」および町ホームページ上で公開する予定です。ご意見の中には、明らかに事実と異なると判断できる部分もありましたが、記載していただいた方の文章表現には別の意味も込められている可能性もあることから全文を公表することとしましたので、ご了承ください。

※意見・提案等の公表にあたり、意見内容が特定の個人・団体などを批判、誹謗、中傷する内容など、公表することが適当でないと判断したものについては、掲載文から削除・一部編集させていただきましたが、貴重な意見として関係部局・団体などに通知し、改善を図ってまいりますのでご理解をお願いします。なお、掲載文は削除部分を除き原文のまま掲載しました。

(12月号で46・47が抜けていました。お詫びして1月号に掲載させていただきます)



に残された様に思う。早來町および追分



いて、一昨年の選挙より14人の定数



民に説明していただく。91私達は今、水



93町にはお金があるお金が



改善すべく、何か厚真町な

46たとえどんな公共施設があろうとも、それを利用したい高齢者や児童にとつて、交通手段が無い限り利用できない。家族で送迎するのは難しい。例えば、(間38)については、特にそう思う。無料の乗り合いタクシーのような方法が(有料でも)あれば...と思う。

町、ならびに鶴川町および穂別町の合併協からの誘いが無かったのか説明されていない。なぜ厚真町だけか? 今後は、苫小牧市に向けて合併を進めて行く事も検討すべきと思う。今後の町づくりについて、厚真町の財政健全化の面からも少なくとも今後10年は箱物の設置を自粛すべきと思う。今後の対策について、高齢者対策は非常に有り難いが、今後の厚真町を考える時、若者に対する対策が先に必要と思う。議員定数につ

から12人の定数に改正されましたが、人口の減少から見ても、更に2名減の定数10人で良いのではなにかと思う。(少数精鋭主義の導入)サッカー場について、サッカー場の設置は時の流れ上仕方ないと思うが、設置場所に問題がある。設置にあたっては、第一に町民主体であるべきと思うが、設置場所があまりにも遠く、利用状況が心配である。機会を捕捉して利用の状況(特に町民の利用状況)を町

道(水)が大変不十分です。これを何とかしてほしい。だんだん寒くなってくるので、これから心配しています。

あるという言葉を聞くが、実際借金は増えている。設備ばかりにとらわれないで、借金しない方法はないのか? 10年先ではなく、100年、200年(オーバー)かも知れないが...先のことを考えて行動して欲しいと思います。住み良い町にするためには何が必要かが見えないのでは? 税金負担が多くなるようであれば、家族皆で他の市町村に移りたいと思います。

合併...私はした方が良くと思います。目先の事だけにとらわれたら、ダメです。

94厚真町という町を北海道の中で知らない人も多いと思います。特に有名な特産物や観光施設もなく、まわりの市町村からはお金不落ちずに、逆に厚真町民はまわりの市町村へ多くのお金を落としている現状とされます。これでは町は、これ以上の発展はなく、若い人がいなくなるばかりではないでしょうか? 町民が一年を通して(特に、農業関係、冬に働かなくなる体質)を改善すべく、



行くのには高齢者にとって
は全く不便で

らではのものを開発し、推進する必要があると思います。北海道全体では、食料自給率が180%程あると聞いています。もつと農林水産の面で何かできないものでしょうか。「地産、地加、地消」地元の物を加工し、消費（付加価値）することがもつとすすむことを望みます。厚真町という所を知らない人はいないという町になっていくことを今後望みます。

95 アンケートの中に障害者についての項目がありました。まわりにはそういう方がいらつしやいませんのどの位の割合いらつしやののか、近くにそのような教育の場があるのかは全くわかりません。でも、必要とする方がいらつしやるなら、支援場所からはじめて自立の手助けが出来る受産場？など将来的に良いですね。市街地が遠い（中心的な）のは何ともならないですが、良い場所が遠くて利用したい気持ちはあるのです。が、つつい：近いといひな。

96 厚真・鶴川間のあつまバスは早朝と夕方（平日）しかありませんので、非常に不便を感じています。あつまの福祉バスも来ておりまさんの、文化活動など日中厚真に行くと



す。福祉バスについてですが、運転出来ない高齢者の



スがうすいように感じます。高齢者を大切に

99 高齢者ばかりが優遇されているのではないのでしょうか？今後、日本を支えていく子供達へのサービス

98 未来の厚真町の姿に対していろいろ細かい項目がありますが、もつとわかり易い言葉の方が良かったと思います。学校教育、家庭教育（地域に密着）に力を入れ、若い人達が厚真を愛し、地元の良さを痛感する人になってほしいですね。できれば、地元で職場があればと思います。いろいろな町の行事や地域活動に参加したいとは思いますが、今の農業経営では、他の収入も考え仕事に出ます。（農業に力が入っていないということでしょうか？）

97 高校、大学卒の就職がなく、若い人は厚真を去つてゆく。何か良い方法を考えているのだろうか？国が定めた敬老会、町も高額の経費を使つてる事と土産まで無駄な事と思う。介護保険、医療と他にも沢山まわすところが有るので

場合、鹿沼地区まで決まつた曜日（予約制でもかまいませんので）来てほしいと思います。特にお願いいたします。



にしているのを悪いと言っているわけではあ



うな）施設や、「ホースセラピー」が出来る

103 百年記念公園またはその付近に「小美術館」（中札内の方にあるよ

102 アンケートは良いことですが、内容の言葉が似かよつていて選ぶのに苦労します。もう少し簡単な項目にするとかならないでしょうか？除雪ですが、道道に面している各自の入口に日に何回も重い雪を置いていかれます。もう少し、うまく機械の操作をしてもらえようようにお伝え願えませんでしょうか。

101 広域化できるものは広域化を図る等、メリハリをつけた行政、ニーズに合わせたまちづくりを指してほしい。

100 町の中には色々大きい施設がありますが、建物が老朽化していった時の維持が気がかりです。経済的に他の町村（鶴川や早来町、穂別などから見て）より裕福と言っているが、現在の人口から見るとつまで続くのか？とも思います。

りません。財政が苦しいのであれば、なおのこと役場職員や町会議員の数を減らすべきだと思います。民間で働いている人達の大変さを感じて欲しいです。



ような施設が出来たらと思います。



107 厚真町が活性化するように町政を実施

106 町政運営やまちづくり、よくわからない事だらけで意見とかにならずすみませんでした。今生活していく中で町のことが考えられることもなく、人口が減っていく中で町政運営まちづくり大変だと思ひますが、良い方向へ導いてほしいと思います。

105 町職員は、特に町民に対して低姿勢にて接し理解しにくいことに對しては、めんどくさらずに丁寧に教えてくれるものと信じています。が、ちよつと高飛車な物の言い方をされると物事を頼みたくなくなる。でも必要のために行くので、もう少し親切であつても良いのではないかと思います。

104 意見や提案をかるやかにのべる時代ではありませんが、町民手を取りあつて良い町をつくつて行く事が大事でしょうね。

103 百年記念公園またはその付近に「小美術館」（中札内の方にあるよ



してほしい。**108** 町民の抱える諸問題を職



ないでしよう。町職員を30%減らす。

112 「問39：定住促進」で添付しましたが、住み良いまちづくりを広く長い視野でみる企画。不用な支出をおさえ諸税を下げる。町会議員を5人位にする。議員年金不用、特に町会議員は、専任職の議員い

111 へき地にも目を向けてほしい。**110** 道路設備が良くなつていて久々に実家帰つて驚きました。また戻つてきたい厚真にしてください。自然が多くて、帰つて来た時には静かだし落ち着きます。この自然を守りつつ町を拡げていってほしいです。字汚くてすみません。ご苦勞様です。

109 町民からアンケートを取るの

は、個人一人一人がまちづくりに参加しているという意識が出てくるので良いと思う。町民が納得できるようアンケートの結果をこれらのまちづくりに反映してほし



優秀な方が多いので実現可能。(定年の補充をしない方法で)



箱物行政の中止。補助制度があっても建物の増加は、すべて住民負担となります。町の全責任ではないでしょうか。

町中の掘り返しは狂気の事業です。民営なら絶対やらぬ事、どこかで調整できた筈です。町村合併に際しても民意を問う姿勢が行政に著しく乏しい。問題点をばかして提示している。己のリストラを恐れる議会決議はふん飯もの。もっと行政はまじめにやるべきなり。

113 具体的な事例について、記述します。厚真町のホームページは、10月17日現在閲覧不可能です。早く新しいリアルタイム情報を掲載したページを見たいと思っています。参考までにニセコ町長逢坂誠二さんの個人ホームページのプリントを同封しました。早来処分場で責任者から次のように言われました。「厚真町の職員は誰もこの処分場に来たことが無い。年に一度くらいはゴミ処理の現場を見てほしい」一人暮らしの高齢者宅の冬支度に、煙突掃除や窓のビニール張があります。例年の如く11月に入って寒さが厳しくなってきたから実



施されています。なぜもっと暖かいうち

に出来ないのか不思議でありません。そ



ういう気配りが、真の住民サービスなのではないでしょうか。

114 財政について平成8年度に設定した新総合計画によると人口想定6,800人としていますが5,200人台に推移すると考えられます。よって1,600人余りの減にともなう職員数、給与はどうでしょうか22%減になっているのでしょうか、その間コンピュータの活用で別の角度から見ると大幅な増員支出になっていませんか。コンピュータも人員と計算すべきと考えます。素人考えですが地方交付金、税収のマイナス等が確実性をあげてきた現在、職員数20年後の30人減でなく思い切った5~10年の間に半分の60人で充分です。ITがやってくれます。またやるべきです。余裕で出来た5億円は、国民健康保険、高齢者、弱者向として福祉医療へまわすべきではないでしょうか。誰も文句は言いません喜びます。民間ではリストラ当たり前です、もっと厳し



また、町議員について法定人数にとらわれず、他の市

町村に遠慮することなく思い切った方針



で模範を示してください。町長自ら積極的にリーダーシップを取り職員が嫌がる事柄でも町民の為になるようなことであればアット驚くアイデアを期待します。

115 少子化については、町の受け入れ態勢が非常に悪い。若い夫婦を受け入れる住み場所がありません。少なく、公営住宅も体制がすべてあやふやで知り合いが「子連れの家族で厚真に住みたい」という方が何組もいたのかかわらず、役場では入所、入居を断っているのは私がこの町に来てから沢山聞きました。自分の子供も含めて、交通機関への不便さを考えると、とても住み良いと思っている幼児期に比べ、高校へ進学していくころには、やはりここはとても住みにくい場所となり、そのころまでには便利の良い所へ・・・と考えるのは仕方ないことのようにです。どちらかと言えば「子供より高齢者への気遣いが多い町」と思っ



と丁寧に対応してほしい。**116** 役場運営に

あたり、各課があり、それぞれの役割分担が



あつて仕事の出来る方々は多々いるけれども、支所においては一つの役割だけでなく沢山の内容仕事があつて、大事な事があつて支所に来て用事が済まなくて、結局は本所・役場へ行かなければならぬ。支所で用事が出来ない済まなければ支所としての意味がないし、ますます町民の方々も来ないし、支所にますます行きたくないです。

117 町政運営については、町長に積極的なリーダーシップをとっていただきたいと思っています。高齢者対策も大切だと思いますが、青少年や勤労者に対して厚真町が魅力ある町づくりをもっと推進してほしいと願っています。これから高齢化社会に向かつてどんどん進んでいきますが、若い世代の人々をこの町にどうやって呼び込んでいくかが重要な問題になってくると思います。



118 今は、食品や日用品も近隣の町へ買出しに行っているのが現状。町の中心部に魅力ある買物の場があるといい。現在は良いとして、老後は買物や病院へのアクセスに不安がある。デマンドバスのようなものがあるのと良いと思う。広域に点在す

る住宅へのサービスにインターネット



(特にブロードバンド)は有効だと思う。各家庭への導入を補助するなどして、町ぐるみの情報化を積極的に進めたらどうか。

119 次世代に多大な負担を残さず、若者が希望を持って定住できる町づくり。(地域産業の振興と育成、建設の抑制)(有機栽培や特産物発掘の為に試験農場借入提供、技術指導者の誘致) 町外への通勤者が親元に定住しやすい環境づくり。(親の所有農宅地またはは農地に住宅建築するさいの規制緩和)(通勤、通学助成等)(低料金による通勤、通学快速バス、小型バスで増便) イターン、Jターンへの情報提供と支援を強化する。(空家情報、遊休農地情報)(新規就農への支援、規制緩和) 以上若者が定住しやすい環境をつくり、それは高齢者対策につながり、町の活性化にもなると思う。こぶしの湯に野外焼肉コーナー(町内牛肉、ジンギスカン、野菜、魚貝類販売) パークゴルフ場でのジンギスカン、おにぎり、こぶし券販売等。(町外者にタダで帰すのはもったいないと思います。運営はパークゴルフ協会にしよう)



120 厚真町は老人向けに力を入れすぎ、そ



人は多いと思いますよ。少し休ませてから



れと同じくらい、若い人や学校、保育園



の血圧測定してはどうでしょうか。健康な40〜50代の



る。①道道苦小牧厚真線 豊川（柏原間）の早



うですが、私も八十歳を超え



子供達の通学路でもありま



す整備してほ

などに力を入れるべき！小学校、中学校、特に（専門の先生）を：家庭科、音楽のできない先生がいる！音符、楽譜のわからない音楽の先生はおかしいのでは…。

121 質問が多すぎ、多大な時間を労しました。あまり意見のないものだと思います。今後は、回答を必須とせず質問の内容を再考して下さい。（回答した人には商品券とか）冊子の型をしたアンケート用紙を封筒に入れることは、非常に困難です。回答用紙を別紙にするなどの配慮が必要では。

122 町のイベント等に参加したいが生活に追われ残念ながら出来ない。季節に左右されない事は、農閑期に参加・協力出来ると思うこともある。北海道民は、厚真町の位置をどの程度知っているのだろうか？PR不足だと思う。（観光）（物産）

123 最近ケアハウスゆくりですが、何か聞いた話ですが、若い40〜50代が特に多いようです。70代からは、血圧が高いと言われ何も出来ない老人が多いそうですね。これでは、老人の為のケアハウスの意味がわかりません。血圧の高い

124 私は年齢が進んでいるので考える事より自分の事が心配です。

125 町・職員・係などの体制・見直しが必要。

126 公園、箱物などもういらなから、自然を利用して、生活レベルを少し下げて暮らせたら良い。

127 私はまだ学生なので難しい事はわかりませんが、町のために頑張っていると思います。小さくてもいいので飲み屋ではない普通のカラオケがあると、学生はたくさんいくと思います。あまり役に立たない意見で、ごめんなさい。

128 気候も異常であるが人も自分勝手、世に感謝の気持ちで日々を過ごしてゆけるしつても大切ではないか？町も何でも新しい事に飛びつくのではなく人材育成、専門的知識者が必要。良く使われている学識経験者とは・・・？経験豊かな意見、また若者の意見、女性の意見を良く聞き、住み良い町づくりを願います。

129 道路網の整備が肝要と思われる。①道道苦小牧厚真線 豊川（柏原間）の早

期開通を②苦東中央インターへの直結

する道を整備してほしい（厚真が高速へ入るのに一番不便な状況）

③夕張厚真線の早期開通を！このままでは、厚真は陸の孤島となつてしまい活性化が失われてしまう。市街の街並みがとても見にくい。歯抜け状態と家並みがバラバラ、他町へ勉強会も行っているのに、何の勉強会してきたのか首をかしげたくなる。

130 最後の2ページほどが無駄になつて。そういったことで資源を大切にしてほしい。

131 私は勉強不足にて漢字が読めず大変困りました。もしまた出す場合、ところどころ難しい字を（力ナ）をふってほしいです。

132 老人と子供（保育園児）を一緒に保育してほしい。

133 高齢者対策について、町政の中でもいろいろと対策を考え、老人の生活に不安のないように努力されておりますのが分かります。でも不十分である点も有ると思います。扱ってもらえず、入所の場もないまま、家庭内で家族の者も介護している方も、少なからず、特に農繁期は大変です。敬老会等の場にも年毎に人員が多くなるよう

に考えられます。わがままを申しあげると

色々と考える点が多くなつてきました。〇〇〇（地名）は故郷です、一年ごとに夢想になつて来るようです。北国の美しい自然の中で、特に空気の何ともいえないおいしさを覚えております。

・ よじ登る 亀の姿が目にしみる ゆっくり しつかり人生歩めと

・ 密集し ひろい合う茎細くして 潔き白 北国の花

・ 大正より 昭和に生きつづヒロインの 人生行路を促す

134 箱物はもういらな、郷土館などはもつてのほか！20年後には、今の施設を管理する人もいない。

（以下、表町分譲地区が地図入りで書かれていましたが、文章のみを記載）表町分譲地の町道（日石消防間）がバイパス化している。このような町づくりは論外。一刻も早く、道路（日石〜セブンイレブン間）が建設されるよう要請すべき。そのために、ダムが2〜3年建設が遅れても良い。建設中の公営住宅の公園側の歩道のブロックを含めた景観が良い。（草が生えない事を祈ります）東屋の隣の遊具施設デザインは最悪！

135 歩道の除雪（冬）、歩道の雑草が

延び放題（夏）。特に歩道の雑草は、

子供達の通学路でもありま

す整備してほ

136 町内に住み働く職場もあるような、政策がなされていなかったと思う。特区etcを利用し、新しい町づくりを考えなければならぬと思う。就職難の時代は、これから続くだろうし、若年層が働く場所の提供を町全体で取り組んでいただきたい。イベント等たくさん行事も一度見直してみてもどうか。それぞれ趣向もあるし、年齢層の幅も広いので、無理もあると思う。現在まだ、町独自単独でや

つていくのであれば守りではなく攻めの部分を期待したいと思う。町民の目に見える町独自の姿勢、

単独で良かったといえる将来を期待し、役場みずから変革してほしいと思う。災害等各地で起こっている現状の中、災害時のマニュアル、各部署との連携が迅速に行われるよう、各地の情報を収集し検討してほしい。

137 豊沢（支流）地区の河川改修、橋梁改修を切望します（平成13年9月水害写真添付）。

以上137件の意見・提案をいただきました。

ご協力ありがとうございました。

以上137件の意見・提案をいただきました。

ご協力ありがとうございました。

平成16年第4回定例会（12月16日～17日）

平成16年第4回定例会が、12月16日から17日までの2日間開催されました。

審議されたのは、平成16年度一般会計補正予算や町職員の寒冷地手当に関する条例の一部改正など議案13件、同意1件、報告3件、認定6件、意見書案1件、決議案2件で、いずれも原案どおり可決されました。

その主な内容についてお知らせします。

同意

内山さんを固定資産評価審査委員会委員に選任

平成十六年十二月二十一日で任期満了となる、厚真町固定資産評価審査委員会委員に、内山豊さん（厚和・54歳）が再任されました。

議案

一般会計予算に2億6,068万円を追加

平成十六年度厚真町一般会計予算は、歳入、歳出それぞれ、二億六千六十七万二千円が追加され、総額で六十七億四千二百五十三万円になりました。
追加補正された主なものは、次のとおりです。

表町公営住宅建設事業

（三号棟建設工事。鉄筋コンクリート造二階建、一棟十二戸）
二億二千四百八十九万二千円

共栄川手線道路整備事業

（延長七〇六・九五メートルの道路舗装工事費）一千八百四十九万五千円

エゾシカ被害防止対策事業

（高丘地区における、エゾシカによる農作物被害の軽減を目的に、金網フェンス柵を設置するための補助金）一千四百九十六万円

町職員の寒冷地手当を引き下げ

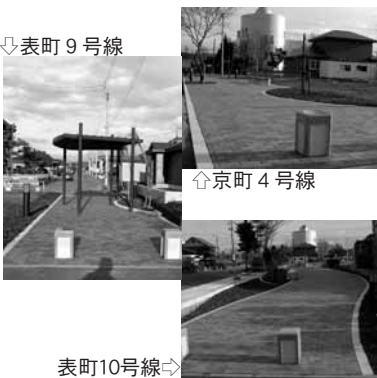
町職員の寒冷地手当が、平成十七年度（十六年度支給分を含む）から二十年度にかけて段階的に引き下げられます。

幌内地区にマナビイハウスが完成

幌内地区の集会施設が完成し、従来の幌内生活館から名称が変わり、「幌内マナビイハウス」になりました。

表町と京町の3路線を町道認定

表町の二路線と京町の一路線が、「表町9号線」、「表町10号線」、「京町4号線」として町道認定されました。



審議された内容

番号	件名
同意1	厚真町固定資産評価審査委員会委員の選任
議案1	平成十六年度厚真町一般会計補正予算
2	国民健康保険事業特別会計補正予算
3	国民健康保険事業特別会計補正予算
4	簡易水道事業特別会計補正予算
5	公共下水道事業特別会計補正予算
6	厚真町職員の寒冷地手当に関する条例の一部改正
7	厚真町生活会館条例の一部改正
8	国民健康保険条例の一部改正
9	都市公園条例の一部改正
10	胆振東部消防組合規約の一部改正
11	財産の処分
12	町道路線の認定
13	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更
認定1	平成十五年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定
2	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
3	老人保健特別会計歳入歳出決算の認定
4	介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
5	簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
6	公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
報告1	委員会事務調査報告（厚幌ダム関連事業調査特別委員会）
2	所管事務調査報告（各常任委員会）
3	現金出納例月検査の結果報告
4	平成十七年度地方交付税所要総額の確保に関する意見書
5	北方領土の早期復帰の実現に関する決議
6	道警不正経理問題にかかわる百条委員会設置を求める決議
意見書案1	
決議案1	
2	

認定

平成15年度の各会計歳入歳出決算を認定

平成十六年第三回定例会で、決算審査特別委員会（古川歳雄委員長）に付託された平成十五年度の厚真町一般会計、および国民健康保険事業、老人保健、介護保険事業、簡易水道事業、公共下水道事業の各特別会計歳入歳出決算につ

報告

いて、委員長から意見を付けた報告が行われ、本会議で認定されました。

厚幌ダム関連事業調査特別委員会、および二つの常任委員会の各委員長から、閉会中に行われた調査について、それぞれの活動、調査事項が報告されました。

◆厚幌ダム関連事業調査特別委員会

◎開催日 10月13日

〔現地および事務調査〕

①国営農業用水再編対策事業の進捗状況

◆総務文教常任委員会

◎開催日 9月28～10月1日

〔道外所管事務調査〕

①自律に向けた町づくりの取り組みについて（新潟県津南町）

②小さくとも輝く村づくりについて（長野県栄村）

③安八町子育て支援センターについて（岐阜県安八町）

◎開催日 10月27日

〔現地調査〕

①上幌内モイ遺跡発掘事業

〔事務調査〕

①埋蔵文化財

発掘事業につ



◇上幌内モイ遺跡

いて

②野原公園サッカー場について

◆産業建設常任委員会

◎開催日 10月29日

〔事務調査〕

①16年産米麦の価格対策と産地発展の方策について

②台風18号による農林水産業被害について

③経営体育成基盤整備事業について

④町道新町富里線の整備見通しについて

⑤都市計画マスタープランについて

⑥こぶしの湯あつまの今後の在り方について

意見書案

◆平成十七年度地方交付税所要総額の確保に関する意見書

・提出者／古川議員、賛成者／米田、井上、筒井、沢口、松平議員

◆北方領土の早期復帰の実現に関する決議

・提出者／古川議員、賛成者／米田、井上、筒井、沢口、松平議員

◆道警不正経理問題にかかわる百条委員会設置を求める決議

・提出者／今村議員、賛成者／海沼、井上議員

決議案

◆平成十七年度地方交付税所要総額の確保に関する意見書

・提出者／古川議員、賛成者／米田、井上、筒井、沢口、松平議員

◆道警不正経理問題にかかわる百条委員会設置を求める決議

・提出者／今村議員、賛成者／海沼、井上議員

下水道だより

昨年1年で320戸が水洗化！今年は本郷が供用開始になります

昨年3月に供用開始した下水道も、はや1年がたとうとしています。昨年供用開始した403戸の内、約8割の320戸の世帯で水洗化工事をしていただきました。

皆さんの関心の高さとご協力に心からお礼申し上げます。

下水道工事は、市街地と新町地区は、ほぼ終了いたしました。本郷地区は、今年4月から、下水道工事が終わった地区から順次、水洗化工事が可能になります。

なお、本郷地区の皆さんへの供用開始説明会を2月に予定しています。水洗化工事の手続き・工事費用に対す

る補助金・受益者負担金・下水道使用料などを説明しますので、お集まりくださるようお願いいたします。

厚真町の下水道計画

- 計画処理面積 125ヘクタール
(この中に、720戸・1,600人の方が住んでいます)
- 計画処理区域 市街地および朝日、新町、本郷の各一部（市街地区域内になります）
- 事業期間 平成10年度から平成20年度まで
- 総事業費 39億円（内、国費18億円）

厚真浄化センターの設備工事がすべて完了しました

施設の見学を歓迎します！

平成13年に着工した厚真浄化センター（汚水処理場）の全ての工事が終わりました。

流入した汚水を微生物の力をかりて、BOD（注）を10ppm以下まで浄化し厚真川に放流しています。

汚水がどのように「きれい」になるか興味のある方、一度見学しませんか。ご連絡をお待ちしています。

（注）BOD～「生物化学的酸素要求量」。水の汚れをあらわす単位で、浄化センターへ入ってくる汚水は250～300ppm、ヤマメが住むきれいな小川で5ppm以下。

●冬期間の水洗トイレ凍結にご注意を

長期間、家を空けるときは、水道の水抜きと同時に、水洗トイレのタンクの水抜き・便器トラップ（水溜り）に不凍液を入れるなど、凍結対策を忘れずに行ってください。

厚真浄化センターの概要

- 所在地 表町191番地3
- 建築面積 1,160.44㎡
鉄筋コンクリート造 地上1階 地下1階
- 処理方式 オキシデーションディッチ法
- 処理能力 600㎡／日
- 建設費 12億円



■問い合わせ先

役場都市施設課下水道調整係（☎7-2321 内線422・423）

五人が中国へ海外派遣研修

急速に^{ばう}変貌を遂げる中国の農業や幼児教育を学ぶ

平成十六年度厚真町海外派遣研修が、十一月二十四日から十二月一日の日程で行われました。

本年度の研修地は中国で、五人（武山幸子さん《本郷》、村上和子さん《浜厚真》、畑島武夫さん《朝日》、池田寿治さん《新町》、飯坂一子さん《上厚真》）の方々が、北京や上海の施設などを訪問し、急速に進歩を遂げる中国の農業や幼児教育について研修を深めました。町職員で研修に参加した、飯坂一子京町保育園長は、「中国ではほとんどの幼稚園が、英語をはじめ算数・音楽・体育・国語などを保育内容に組み入れていて、職員は、高等教育機関の幼児教育科で学び、それらを指導する資格を得ていて、その学識の高さを感じた。この研修で見聞きすることすべてが、驚きと感慨深いものがあつた」と研修を振り返り感想を語っていました。



上海の幼稚園敷地内で幼稚園の先生（左端と右から2番目）と

リサイクルと歳末助け合いの 不用品即売会が盛況

町コミュニティ運動推進協議会（小松岩雄会長）主催により、年末恒例となっている歳末助け合いの催し「不用品即売会」が12月1日、総合福祉センターで行われました。

資源の有効活用と収益金を歳末助け合い義援金として、寄付することを目的に開催。衣類をはじめ食器や玩具など種類も豊富で、多くの町民の方々が会場を訪れ、品物を購入していました。



多くの町民が訪れた即売会

防犯や交通安全の講話に耳を傾ける参加者



安全で安心できる町を願い 交通安全・防犯町民集会

交通安全・防犯町民集会が12月10日、総合福祉センターで交通安全や防犯運動などの関係者、自治会から約70人が参加し開催されました。

集会では、苫小牧警察署生活安全課の藤原課長から「防犯について」、また北海道交通安全推進協議会の小西主任推進委員から「心にもつけよう正しい信号機」をテーマに講話がありました。

参加者は、安全で安心できる町になることを願いながら熱心に耳を傾けていました。

毎月第1水曜日の午後に青少年センターで、「おはなしわたぼうし」(佐藤睦子代表)により、小学校低学年を対象に、本の読み聞かせやケンパや剣玉など昔遊びの活動が行われています。

5月から活動をはじめ、現在会員は4人。

佐藤さんは「自分も本が好きで、子どもたちに本を読むことが好きになってほしい」と毎月子どもたちが喜ぶことを思いながら活動に励んでいます。

子どもたちに本の魅力を伝えたい



11月23日に本郷マナビィハウスで、平成16年度本郷団地敬老会が、本郷団地子ども会育成会(立石恵輝会長)や同子ども会が主催し行われました。

町内では、唯一、子ども会が主催となっているこの敬老会に、子ども会会長の森田昂太くんから「ゲームなど一緒にして楽しい一日にしたい」とあいさつがあり、お年寄りの方から昔話を聞かせてもらうなど、交流を深めていました。

本郷団地子ども会が敬老会



厚南中学校生徒会が 被災した中学校へ寄付金を送る 満場一致で可決！

昨年発生した十勝沖地震で被災し、現在、仮校舎で学業に励んでいる厚南中学校(恐神寛秀校長)生徒会が、新潟中越地震で被災し、被害の大きかった新潟県南小千谷中学校へ約十三万六千円を寄付しました。

寄付金は、廃品回収や学校祭で得た利益などで、通常は三年生を送る会などの経費に充てていましたが、三年生の旧生徒会役員が、二年生の新生生徒会役員に被災地に寄付金を送り、復興に貢献しようという提案。新役員も同意し、十一月二十六日に全生徒による集会が持たれ、満場一致で提案が可決されました。寄付金とともに、復興の願いを込めた、励ましの手紙も添えられました。



新旧の生徒会役員の皆さん



豊厚園を訪問し 楽器演奏やダンスを披露

十二月八日、中央小学校(近藤茂校長)三年生から六年生までの児童百五人が、豊厚園を訪問し、入居している方々と交流を深めました。

世代を超え、たくさんの人とふれあうことを目的に毎年訪問しているもので、各学年から披露される楽器演奏やダンスに、目を細めながら手拍子进行など、入居者の方々は、子どもたちの姿に見入っていました。



詩吟や華麗な舞に 多くの観客が拍手を送る

十一月二十一日、総合福祉センターで「吟詠・剣詩舞大会」が日本吟剣詩舞道会厚真支部の発足記念を兼ねて開催されました。支部長の藤江利津子さん(共和)を中心にこの日のために、会員が一丸となって準備を進めてきました。大会は、町内外から参加した出演者が繰り広げる百を超える吟詠や剣詩舞に、会場に足を運んだ観客の皆さんから大きな拍手が送られていました。

友達のように同じ目線で話をする

豊丘 松田和夫さん（75歳）



「保護司は、保護司になって保護司になる。この意味は、辞令を受けてから一生懸命勉強して、一人前の保護司になること」と松田さん。

十月二十一日に、札幌市で保護司功労により法務大臣表彰を受けた。昭和五十八年から苫小牧地区保護司会厚真分区分の保護司となり、二十年以上その任に就き、現在、苫小牧地区副会長、厚真分区分長の要職に就いている。

「保護司の仕事は、社会のルールに反した人が一般社会に復帰する手助けをするのが仕事」と語る。

民生委員・児童委員としても、平成十三年まで三十年間務めた。

「民生委員は厚生保護、保護司は更正保護の違いはあるが、どちらも困っている人を助けることでは同じだね」また、「友だちのような目線で対象者と接し、心を開いて

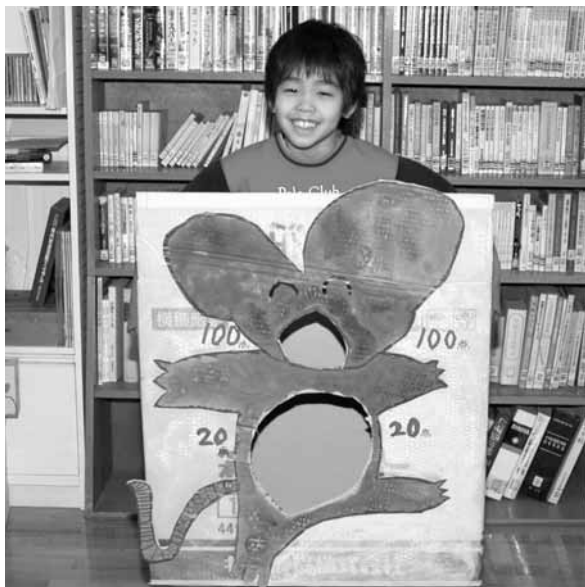
くれるのを待つことを心掛けています。一番うれしいことは、更正した姿を見ることがですね」と話すその目はやさしい。

昔は、保護司は陰で活動することが主体だったが、近年は、犯罪のない社会、社会を明るくする運動に力を入れていると言う。

「青少年の健全育成は、各団体でやっているが、目的は同じなので、連携・協力してひとつにまとめて活動できれば」と話す。

本業の農業のほかに、様々な年の活動に対して、各団体・機関から、数え切れないほどの感謝状や表彰状を受け取っている。松田さんに趣味を聞いたところ、「長い間仕事一本だったから、これから何か考えなければね」と顔がほころんだ。

マチの善意



とみ の しょう ねん
富野小 3年
み よし ひろ し
三好 洋志く ん (8)
「ネズミの的を作りました。12月17日の富小祭りで使います。みんな楽しんでくれるといいな…」



ぼくわたしの作品



かる まい しょう ねん
軽舞小 4年
きく ち やよい
菊池 弥生ちゃん (9)
「ウサギのすごろくです。大きく作れたし、色の組み合わせもきれいにできたので上出来です！」

ぼくの・わたしの クラス自慢

ともだちっていいな



紹介してくれたのは…

厚南中学校 2年生の皆さん
(書いてくれたのは) 青木 誠くん

その44 厚南中学校



ぼくたちの学級の良い所は、なんにでも一生けんめいで、明るく、元気で団結力があり、一人一人が仕事に責任を持つところだ。

休み時間は、みんな仲よく笑いがたえずとてもいごちのよいクラスです。

また、今年の学校祭の演劇では二十人が一つ一つの役割に責任をもちやり通しました。そして、役者という役割にあたった人は、もて前の明るさで役を演じきりみごと最優秀賞を取ることができました。

また、合唱では、二十人の心を一つにしてとてもよい歌になりました。ぼく達はこの学校祭を通しより団結力が高まりました。二年生は、これから学校の中心となっていくので、これからも学級のよい所をどんどんだしていきたいと思います。

みんなの広場



みなさんの声をお寄せください

- ・こんな記事を読んでこう思った。
- ・こんな疑問を持っている。役場のみなさん教えてなどどんなことでも結構です。

紙面は無記名ですが、住所や氏名、性別、年齢は伺います。

●総務課広報広聴係 電話 7-2321 FAX 7-2328

係に寄せられた声

厚高、すばらしい！

「こんにちは 厚高です！」を
読んで、卒業後の進路決定率が一
〇〇パーセントということは、す
ばらしいことだと思いました。

(40代/女性)

写真がたくさんあると、楽し
いですね

まちのニュースや表紙など、写
真がたくさんあると、「知ってる顔
が載っているかな？」と探す楽し
みがふえ、広報が配られるのも待
ち遠しいです。

(60代/女性)

広報クイズについて

今月号は、紙面の都合により『広
報クイズ』をお休みさせていただきます。
ご了承ください。

なお、12月号のクイズの答えと正
解者は、クイズのしめ切り日が1
月11日のため2月号で発表します。

2月号から、またどんどん応募し
てくださいね！

町へつ通信——課長から

■総務課

昨年暮れに清水寺の2004
年の「今年の漢字」に「災」の
文字が選ばれた。これは一年の
世相を漢字一文字で表したもの
で、自然災害やイラク戦争から
連想され「来年は福に転じてほ
しい」との願いが込められてい
るという。

本当に今年は「災」の字を書
くことがないことを心から願
いたい。

■町民課

新しい年がスタート。今年も
「交通事故に遭わない・起こさ
ない」よう、交通安全運動に心
がけていきましよう。

■農業振興課

新たな年となりました。本年
三月には、新たな「食料・農業・
農村基本計画」が見直しされ、
本町の第五次農業振興計画も策
定されます。水田農業の生産向
上に係わる政策環境が大きく変
化しつつあります。本町の農業
も依存型から創造する農業を目
指しましょう。

■生涯学習課

九日(日)十一時から総合福
祉センターで成人式を行い、五

十六人の方が新成人となります。
ご成人おめでとうございます。
自覚を持った行動をしましょう
ね。

■体育振興課

スポーツセンター・スタード
ームは、年末年始の三十一日か
ら五日まで休館します。不便を
おかけしますが、六日から平常
どおり開館しますのでご利用く
ださい。

ウインタースポーツの時期と
なりました。外での心地よい汗
をかいてみませんか。

■商工経済課

ランタン祭りに参加してみま
せんか！
厚真の冬のイベント『光のペ
ージェント・インあつま(ラン
タン祭り)』が、今年も二月三日
～四日、親水公園(厚真川河川
敷)を中心に開催されることに
なりました。ランタン祭り実行
委員会では、多くの皆さんに楽
しんでいただけるよう準備中
です。

今年のランタン作製目標は五
千個です。グループでの参加も
歓迎ですので、ご協力をよろし
くお願いします。

三日には、厚真の夜空を飾る
冬の花火大会も、こぶしの湯あ
つま付近で盛大に行われます。
もちまき、あつま汁、振舞い酒
の提供などが計画されています
ので、ご家族やお友達など誘い
合せて、冬のイベントを楽しん
でください。

■都市施設課

昨年は、2003年十勝沖地
震の災害復旧工事などで、建築
公園、水道、下水道と工事が多
く、完成が今年になるものもあ
りますが、安全第一で地域の皆
さんの協力を得て、今年も工事
にあたりたいと思います。
よろしくお願い致します。

■こぶしの湯あつま

いつもご利用いただき、あり
がとうございます。
こぶしの湯では、大晦日の夜
十時三十分から、昨年同様入浴
された方を対象に、年越しそば
の無料提供を予定しています。
また、先月号でご紹介しまし
た『日高路温泉スタンプラリー
「十湯一食膳」も実施中ですの
で、ご家族やお友達などお誘い
合わせのうえ、ぜひご来館くだ
さい。

おはなしのびっ子に 来ませんか？

お子さんと絵本との出会いのきっかけ作りや、同じ年齢のお子さんを持つお母さんたちの交流・意見交換の場として、月1回開催しています。

主な内容は、絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊び、パネルシアター、ペープサートなど盛りだくさん。ぜひ、お子さんと一緒にお越しください。

【おはなしのびっ子・1月のご案内】

と き 1月27日（木） 10：30～11：00
と ころ 青少年センター2階 プレイルーム
内 容

- ◆絵本 3冊
- ◆ペープサート（北風と太陽）
- ◆パネルシアター（ポンくんの夢）

みんなで遊びに来て
ね。スタッフ一同、
お待ちしております！



新 春 文 芸

お題「歩み」（詠者五十音順）

◆ 短 歌 ◆

豊作の
稲穂の畦を歩み居れば
曾孫声あげ
走りて来るも

（豊沢 上田 歌子）

戦争の
過酷な思ひも杳くなり
いま仕合せに
八十路を歩む

（本郷 清水 雀）

高齢化の
なかまに入りて我が人生
そろそろ歩まむ
天寿の日まで

（上野 宮崎 静恵）

たそがれて

「歩みののろいかめさんよ
ついてゆきます
おいてかないで」

（匿名希望）

◆ 川 柳 ◆

夢はこぶ

野鳥に春のさざし問う

（上厚真 重信 ミネ）

厚高インフォメーション



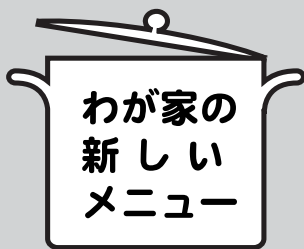
68

環境について学ぶ

総合的な学習の時間は、学年によつて学ぶことが違います。一年生は介護福祉について、二年生は環境問題について、そして三年生は職場体験学習です。今回は二年生の環境学習の内容を少しご紹介します。身近なゴミ問題から、ダイオキシン、環境ホルモンなど専門的なことについても生徒たちは意欲的に学んでいます。

その一環として、先月の十九日、「リサイクルプラザ 苦小牧」沼ノ端クリーンセンターを訪れました。リサイクルプラザでは牛乳パックのバルブを利用したはがき作りを体験しました。自分で用意したイラストや写真をバルブにすき込み完成させたはがきには、手作りの風合いがあふれ、買ったものとは違う温かみを感じられました。また、苦小牧市だけでなく厚真町などのゴミも焼却されているクリーンセンターでの見学は、ゴミの多さを再確認させられました。体験学習と施設見学からゴミを減らすこと、リサイクルの大切さを感じることができました。

この先の取り組みとして、今までの学習をグループごとにまとめて発表します。自然の大切さが生徒の心に根付くことを願います。



ハンバーグの ホイル焼き



人気メニューのハンバーグですが、ふっくら焼くのが難しいもの。表面を焼き付けてからホイル焼きにするとジューシーで失敗なしです。ソースをかけて焼くことでハンバーグも付け合せもしっとり熱々に仕上がります。

冬休みの間、親子で一緒に作ると楽しいですね。ひと味違った本格的ハンバーグに仕上がります。

○材料（4人分）

- ・合いびき肉 500g
- ・たまねぎ 1個
- ・パン粉 カップ1/2
- ・牛乳 カップ1/2
- ・卵 1個
- ・じゃがいも 2個
- ・にんじん 1本
- ・さやいんげん 12本
- ・マッシュルーム 8個
- ・赤ワイン カップ1/4
- ・ドミグラスソース（缶詰） 1缶

・中濃ソース

- 小さじ1
- ・水 カップ1
- A ・固形スープの素 1個
- ・白ワイン 大さじ1
- ・ローリエ 1枚

●バター・塩・こしょう・サラダ油

○栄養価（1人分）

- ・エネルギー 540kcal
- ・食物繊維 4.1g
- ・カルシウム 117mg
- ・塩分 3.0g

○作り方

- ① たまねぎを粗みじん切りにし、バター大さじ1でよく炒め、粗熱を取ります。パン粉と牛乳を合わせます。
- ② ボウルに合いびき肉、①、卵、塩小さじ1弱、こしょう少々を加え、粘り気が出るまで手でよく練り混ぜます。4等分し、厚みのある楕円形にしておきます。
- ③ じゃがいもの皮をむき四つ割りにして水にさらしてから水気を切ります。にんじんも皮をむき2cmの厚さの輪切りか半月型に切ります。さやいんげんの筋を取り3つに切ります。マッシュルームの石づきを切り落とし、紙タオルなどで汚れをふきます。
- ④ なべにAの材料を入れて火にかけ、煮立ったら③のじゃがいもとにんじんを入れ、中火で柔らかくなるまで煮ます。
- ⑤ さやいんげんをラップで平らに包み、電子レンジ（600W）に1分30秒かけます。ラップをはずして④に加え、しばらく煮て煮汁が少なくなったら火を止めます。
- ⑥ ソースを作ります。別のなべに赤ワインを入れて一煮立ちさせ、ドミグラスソースを加え混ぜ、数分煮ます。火を止め、中濃ソースと塩・こしょう各少々で味を調えます。
- ⑦ フライパンにサラダ油大さじ1を熱して②のハンバーグの両面を焼きつけます。30cm角くらいのアルミはくを4枚用意し、それぞれにハンバーグ1個と⑤の野菜、マッシュルームの1/4量を入れ、⑥のソースの1/4量をかけます。
- ⑧ アルミはくの両端と上を閉じ、230℃に温めたオーブンで約25分間焼いてできあがりです。

幼児向け



ゆきのともだち

イアン・ホワイブrow／作

ほんをよむのがだいすきなこぶたのピッグは、本のなかに新しいことば「ねがい、かわること、ともだち」を見つけます。ともだちって？どきどき、わくわくの先には、なにがあるの？3つのことばをくりかえしつぶやいてみると…。

楽しいことばの探検に、ピッグと出かけてみませんか？

（理論社）

一般向け



密室の鎮魂歌

岸田 るり子／著

ある女流画家の個展会場で、一枚の絵を見た女が、悲鳴をあげた。5年前に失踪した自分の夫の居場所をこの画家が知っているにちがいない、というのが彼女の不可解な主張だった。しかし、画家と失踪した男に接点はなかった。5年前の謎に満ちた失踪事件…。

第14回鮎川哲也賞受賞作。

（東京創元社）

一般向け



袋小路の男

糸山 秋子／著

出会って12年間「あなた」とは指一本触れたことがない。厳密に言えば、割り勘のお釣りのやりとりで中指が触れてしびれたことがある。

袋小路に住む男にひたすら片思いを続ける女を描いた究極の純愛小説。

（講談社）

おすすめの
本

文芸あつま

◆短歌◆

雪被う田面を染めし夕暮に見とれて歩む茜の空を
こぶしの湯語りし夜もつかの間にクラスの友を名残り見送る
公園の池に映れる外灯の木の間木の間に光り漂う

(新町 中田 八重)

花鉢の中に育ちし雑草の伸びればいとし冬陽のなかに
雪しまく十勝の川のにぎわしき白鳥降り立つ幾千の声
白鳥が大きく羽ひろげ下り立つとしばしすべり氷の面を

(豊沢 大垣 丈子)

二人目の子育て中と写真載せ賀状を呉る元同僚は
孫の手の触れたる窓に今朝の冷えに跡くつきりと浮き絵のごとし
御無沙汰の侘びも書き添へ年賀状の数を束ねてポストに向かう

(本町 飛谷 文子)

鳥も雀も白き息吐く見てしより親しみをもつ冬の朝を
紫陽花は花柄のまま終わりを訪ふ人もなき我が冬の庭
ガラス越しに日の当たりたる松の木に雪片光りてダイヤのごとし

(本町 飛谷 富夫)

(あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第九号』から抜粋)



天ぷらをおいしく揚げるコツは、材料の下ごしらえをしっかりとすることです。下ごしらえさえ十分にしておけば、油のハネを防ぐこともできます。天ぷらの代表といえば、「えび」です。えびは油のハネが激しくて、うっかりしているとハネた油でやけどをしかねません。衣をつける前に、尾の先と剣の部分を包丁やハサミで少し切り落とし、中の水を包丁の背の部分を使ってしごき出しておく、油のハネが防げます。

天ぷら油のハネを防ぐ

水けをきってから揚げる

「いか」は皮をむくとき、二枚目の薄皮まできちんとむくことがコツです。むいておかないと熱で皮が膨らみ、はじめて油がハネます。「ししとう」も、包丁で切れ目を入れてから衣をつけましょう。包丁を入れないで丸ごと揚げると、はじめて同じく油がハネます。野菜類は、よく水けをきって揚げましょう。

天ぷらを揚げるときのもう一つの悩みは、衣がカラッと揚がらないことです。衣を作るときに長くかき混ぜていると、粘りが出てべたつきの原因になります。小麦粉カップ一杯に対し、卵一個(黄身だけ)をカップ一杯の冷水で溶いたものを、大ざっぱに混ぜるのが衣を上手に作るポイントです。菜ばしの太いほうを使って、かき回しましょう。少しぐらいのダメができるのは、気にしないでください。



＜ら＞の 豆事典

先日、友人の結婚式に参列したときのこと。おごそかな場所であつたまじやかに始まつてまもなく、自分のおなかの『グー』と鳴つてしまひました。恥ずかしいなと思つてみると、他の方からも聞こえてきました。普段なら何でもないことなのに、そのときは

なぜか笑いがこみあげてしまひ、おかしくて、笑いが止まらなくなつてしまひました。こらえようとすればするほど苦しくて、それはもう大変でした。

耐えなければと思うときほど、次から次へと笑いがこみあげてきてどうしようもなく

困つてしまつたこと、みなさんも経験ありませんか？

あくびをおさえたいときには上唇に舌先をつけるとか、いろいろな場面での対処法があります。こみあげてくる笑いをこらえるいい方法を知つていればぜひ教えていただきたいです。

(藤)

アトピー性皮膚炎、冬の悪化を防ぐには？

アトピー性皮膚炎の発症には、「アレルギー的要因」と「非アレルギー的要因」の2つが深く関与していると考えられています。アレルギーの要因となる物質には、「ダニやハウスダスト」などがあげられます。一方、アレルギー以外の要因で最も大きいのが「ドライスキン（乾燥肌）」です。

アトピー性皮膚炎というと、アレルギーの問題に注目しがちですが、実は、アトピー性皮膚炎の患者さんに多いドライスキンも軽視できません。皮膚のバリア機能が低下して、ダニなどの異物が侵入しやすくなることから、ドライスキンは、アレルギーを引き起こす状態だといえるのです。

冬になると空気が乾燥するので、もともと肌が乾燥しがちなアトピー性皮膚炎の人は、乾燥がよりいっそう進みます。すると、皮膚のバリア機能がさらに低下するので、ささいな刺激に対してもアレルギーが起こりやすくなり、炎症の悪化や炎症範囲の拡大を招くのです。

スキンケア 冬に気をつけること

アトピー性皮膚炎だけでなく乾燥肌に伴うかゆみにも有効です！

●入浴後すぐに保湿剤を塗る

保湿剤は入浴後の潤った肌に塗るのが効果的。肌の水分を逃さないためには、入浴後3分以内に、全身に塗るのが効果的。



●衣類に気をつける

ウールなど毛足の長い布地の服は、皮膚に刺激をあてるので、直接肌に触れないようにする。肌着には、刺激の少ない木綿などがおすすめ。



冬に症状が悪化するのを防ぐためには、肌の乾燥を防ぐ「スキンケア」が大切です。肌が乾燥し始める前の早い時期から、自分にあつた保湿剤を全身に塗るのを習慣にしましょう。また、炎症のある部分にはステロイド外用薬などの適切な治療薬を正しく使用することも大切です。アトピー性皮膚炎は、よくなったり悪くなったりを繰り返しながら徐々に改善していく病気なので、根気よくスキンケアや薬物療法を続けましょう。

また、ドライスキンは物理的な刺激にも弱くなります。チクチクする衣服はかゆみを引き起こす原因になるので、冬は着るものにも注意しましょう。

今年、早くもインフルエンザの患者さんが確認されました。例年よりも早い時期での流行が予測されています。手洗い・うがいをこまめに行い、栄養・休養をしっかりととりましょう。成人で38℃、子どもで39℃、40℃の高熱、「頭痛、倦怠感、腰痛、関節痛、筋肉痛」などの全身症状がある場合は、インフルエンザが疑われますので速やかに受診しましょう。

また、インフルエンザの予防には、予防接種が有効です。まだ接種されていない方（特にお年寄りや乳幼児）は早めに接種しましょう。



インフルエンザに
ご注意ください！

2月の日曜・祝日当番医

日程	区分	病 院 名	住 所(苫小牧市)	電 話 番 号	(診察時間) 9:00~17:00 当番医は変更になることがあります。 新聞等で確認するか、当日病院へお問い合わせください。
6日 (日)	内科系	やまざきこども医院	大成町2-3-1	(0144) 75-1133	
	外科系	ともより整形外科	沼ノ端572-10	(0144) 57-8211	
11日 (金・祝)	内科系	たかやなぎ小児科	日新町2-7-8	(0144) 71-2115	(お知らせ) 『北海道救急医療・広域災害情報システム』を利用して近くの医療機関などが検索できます。 ホームページアドレス http://www.qq.pref.hokkaido.jp 電話 フリーダイヤル 0120-20-8699 携帯電話・PHSからは 011-221-8699
	外科系	苫小牧泌尿器科クリニック	明野新町2-1-12	(0144) 57-0455	
13日 (日)	内科系	柴田内科循環器科	桜木町1-24-18	(0144) 71-2225	
	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	(0144) 36-1221	
20日 (日)	内科系	浪岡内科消化器科クリニック	沼ノ端571-17	(0144) 51-2811	
	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	(0144) 72-7000	
27日 (日)	内科系	吉川医院	表町5-2-3	(0144) 34-4565	
	外科系	メモリアル整形外科	花園町4-2-5	(0144) 74-2111	

苫小牧夜間休日急病センター(内科・小児科のみ)

曜 日	受 付 時 間	(住所) 苫小牧市旭町 2 - 5 - 4 (電話番号) 0144-35-0001
月曜日～金曜日	19：00～翌朝 7：00	
土曜日	14：00～翌朝 7：00	
日曜日・祝日	9：00～翌朝 7：00	
年末年始（12／31～1／3）	9：00～翌朝 7：00	
※休日は当番医のほかに、急病センターも診察を受け付けています。		



保健の こよみ 2月

2(水)

乳児健診

対象児 生後3～6カ月、9～12カ月のお子さんで、初回者のみ。

と き 3～6カ月児 13:30～13:50
9～12カ月児 13:00～13:20

と ころ 総合ケアセンター『ゆくり』

持参するもの 母子健康手帳、バスタオル

7(月)

母親教室

対象者 町内にお住まいの妊婦さんとパートナーの方。

と き 13:30～15:00

と ころ 子育て支援センター『ゆうゆう島』

持参するもの 母子健康手帳、筆記用具

申し込み 2月3日(木)までに、町保健師にご連絡ください。

その他 動きやすい服装でお越しください。

9(水)

児童相談所巡回相談

対 象 お子さんの発達や子育てについての悩み・相談がある方なら、どなたでも相談できます。秘密は厳守いたします。

と き 時間は、人数が確定次第決定します。

と ころ 総合ケアセンター『ゆくり』

申し込み 2月4日(金)までに、保健福祉課福祉係(総合ケアセンター『ゆくり』内)にご連絡ください。

相談員 室蘭児童相談所児童福祉司ほか

23(水)

すくすく教室(幼児食講習会)

対象者 1歳半から2歳までのお子さんをお持ちの母さん。

と き 10:00～13:00

と ころ 総合ケアセンター『ゆくり』

持参するもの エプロン、スプーン、筆記用具

申し込み 2月21日(月)までに、町栄養士へご連絡ください。

21(月)～25(金)

三種混合予防接種

対象児

・1期初回ー初めて三種混合予防接種を受ける場合には、生後3カ月から12カ月が標準的な接種年齢となります。今までに1期初回を1回以上接種しているお子さんで、生後12カ月を超えている場合は、48カ月までにできるだけ終了させてください。

・1期追加ー1期初回接種(3回)終了後、12カ月から18カ月までに接種してください。

※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。

と ころ 今野医院

受 付 接種希望当日に、保健福祉課(総合ケアセンター『ゆくり』内)で受け付けを済ませてください。

受付時間は、午前9時から午後4時までです。

持参するもの 母子健康手帳、印章

21(月)～25(金)

麻疹予防接種

対象者 生後12カ月から15カ月までのお子さん。

※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。

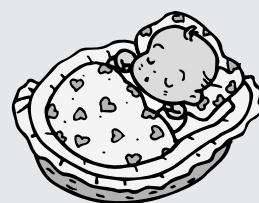
と ころ あつまクリニック

受 付 接種希望当日に、保健福祉課(総合ケアセンター『ゆくり』内)で受け付けを済ませてください。

受付時間は午前9時から午後4時までです。

※24日(木)の午後はお休みさせていただきます。

持参するもの 母子健康手帳、印章



今月の お知らせ

調査

製造事業者の統計調査 にご協力ください

経済産業省では、工業統計調査を平成16年12月31日現在で実施します。

工業統計調査は、製造業を営む事業所を対象として、その活動実態を明らかにすることを目的として調査します。

調査結果は、国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として利用されるとともに、企業、大学などでの研究資料、小・中・高等学校の教材など、広く利用されています。

調査の実施に当たっては、平成16年12月から平成17年1月にかけて調査員が調査票を持って伺いますので、記入についてご協力をお願いします。

なお、調査票に記入していただく内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確な記入をお願いします。

調査開始日

12月下旬から

問い合わせ先

役場企画調整課統計係

(☎ 7-2321 内線303)

調査

農林業センサスに ご協力ください

農林水産省では、2月1日現在で「2005年農林業センサス」を実施します。

農林業センサスは、農林業の実態を明らかにし、国や都道府県、市区町村はもちろん各方面にわたり、広く利用できる総合的な統計資料を得るための調査です。

全国の農家や林家をはじめ、すべての農林業関係者を対象に行われる「農林業の国勢調査」ともいふべきものです。

調査の実施に当たっては、1月下旬から調査員が調査票を持って伺いますので、記入についてご協力をお願いします。

なお、調査票に記入していただく内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確な記入をお願いします。

調査開始日

1月下旬から

問い合わせ先

役場企画調整課統計係

(☎ 7-2321 内線303)

申告

確定申告は 自分で書いてお早めに

平成16年分の所得税の確定申告相談および申告書の受付が2月16

日(水)から始まります。所得税の確定申告書の受付は3月15日(火)、消費税および地方消費税(個人事業者)の確定申告書の受付は3月31日(木)までです。

申告書は、前年の「確定申告の控え」や「確定申告の手引き」などを参考に自分で作成し、お早めに提出してください。また、申告書は、国税庁ホームページ(アドレス: www.nta.go.jp)の「確定申告書等作成コーナー」で作成することができます。

申告相談会場にお越しの際には、印鑑、前年の確定申告書等の控え、使い慣れた「計算器具」や「筆記用具」をご持参ください。

なお、還付申告の受付は、平成17年1月4日(火)から始まります。

問い合わせ先

札幌国税局税務相談室苦小牧分室(☎ 0144-3616611)または苦小牧税務署(☎ 0144-3213241)

募集

常設・へき地保育園の 園児を募集します

町では、4月から保育園に入園を希望する園児を募集します。

申し込み期間

1月17日(月)～2月10日(木)

申し込み先・問い合わせ先

役場保健福祉課福祉係

(☎ 7-2321 内線104)

《常設保育園》

▼募集人数

・京町保育園 60人

▼提出書類

入園申請書、雇用証明書(以上は役場保健福祉課福祉係と役場上厚真支所にあります)、印章、給与所得者は前年の源泉徴収票。

※初めて入園を希望する園児の面接調査は、入園申請後に保育園で行います。

《へき地保育園(さくら、ひまわり、宮の森、みつば)》

▼対象児童

原則として満3歳以上。

▼提出書類

入園申請書(役場保健福祉課福祉係と役場上厚真支所にあります)、印章。

申請

入札参加資格診査申請 書の受け付けをします

平成17・18年度に町が発注する建設工事等の入札に参加される方は、次により入札参加資格審査申請書を提出してください。

また、建設業以外の物品等販売指名を希望する町内業者の方は、入札参加資格審査申請書の提出を特に必要としません。

▼提出書類

入札参加資格審査申請書および工事または物件の販売等の実績な

ど、指定の添付書類。

▼有効期限

平成17・18年度の2年間。

▼受付期間

2月1日(火)～2月28日(月)(土、日曜日、祝日を除きます)

▼受付窓口・問い合わせ先

役場財政課税務課財政係

(☎ 7-2321 内線222)

もしもの時に備えて

樽前山防災フォーラム2005

樽前山は、有珠山と違って噴火の大まかな周期性が認められない特徴があります。

このフォーラムは、樽前山の火山活動を知り、地域住民や防災機関などが噴火に備えて何をすべきかを考える目的で開催されます。

■日時 1月25日(火)午後1時30分開会

■場所 苦小牧市文化会館

■内容 基調対談、パネルディスカッションなど

■入場料 無料

新年交礼会のお知らせ

●日時 1月7日(金)正午から

●場所 総合福祉センター

●会費 2,500円

(当日、受付で申し受けます)

●問い合わせ先

町商工会

(☎ 7-2456)

公営住宅・特定公共賃貸住宅の 入居者を募集します

町では表町地区に建設している公営住宅と特定公共賃貸住宅の入居者を募集します。

入居を希望される方は、募集期間内に関係書類を添えて役場都市施設課住宅係まで申し込んでください。

入居決定は2月下旬、実際に入居できるのは3月上旬以降となる予定です。

また、特定公共賃貸住宅の募集も併せて行います。入居基準や家賃など公営住宅とは違った形態となっていますので、詳しくは役場都市施設課住宅係までお問い合わせください。

■募集する公営住宅

- (1)募集の戸数 3戸
- (2)所在地 厚真町表町120番地の13
- (3)団地名 表町団地
- (4)棟番号 2号棟
- (5)規模・構造 鉄筋コンクリート造2階建一部3階建(1階部分)
- (6)面積 2LDK(専用面積:60.9㎡)
- (7)家賃 (16年度)22,000円～36,400円(所得に応じて4段階)
(17年度)21,900円～36,300円(所得に応じて4段階)
- (8)入居資格
次の①から③をすべて満たしている方が入居資格を有することになります。
①入居を予定している世帯全員の所得の合計額から控除額(同居控除等)を控除した額を12で除した額が200,000円以下の場合。
②現に住宅に困窮していることが明らかな方であること。
③町税を滞納していないこと。
- (9)選考方法
住宅困窮度の高い方から決定。ただし、判断がつかない場合は抽選。同住宅は、高齢単身または高齢者夫婦世帯を優先に選考します。
- (10)敷金 決定家賃の3カ月分
- (11)共益費および駐車場使用料
共益費1,500円/月、駐車場使用料800円/月

■募集する特定公共賃貸住宅

- (1)募集の戸数 7戸
- (2)所在地 厚真町表町120番地の13
- (3)団地名 表町団地
- (4)棟番号 2号棟
- (5)規模・構造 鉄筋コンクリート造2階建一部3階建(2・3階部分)
- (6)面積 3LDK(専用面積:71.8㎡)
- (7)家賃 56,000円(一律)
- (8)入居資格
次の①から⑤をすべて満たしている方が入居資格を有することになります。
①入居を予定している世帯全員の所得の合計額から控除額(同居控除等)を控除した額を12で除した額が200,000円以上601,000円以下の場合。
②自ら居住するために住宅を必要としていること。
③町内に住所を有するまたは有することになること。
④現に同居し、または同居しようとする親族(婚約者を含む)がいること。
⑤町税や町使用料等に滞納がないこと。
- (9)選考方法 抽選による。
- (10)敷金 168,000円
- (11)共益費および駐車場使用料
共益費1,500円/月、駐車場使用料800円/月

■募集期間

平成17年2月1日から平成17年2月21日まで
(土日・祝祭日を除く日の8時45分から17時15分まで)

■申込み方法(提出書類)

- ①入居申込書(都市施設課住宅係にあります)
- ②住民票の写し(入居予定全員のものが必要です)
- ③平成16年度所得課税証明書(所得のある方全員分)
- ④納税証明書(平成16年度分)

■申し込み・問い合わせ先

役場都市施設課住宅係(☎7-2321 内線425)

▼日時 2月3日(木)・4日(金)
※いずれも午後5時ころからです。
▼場所 厚真市街十字路
▼内容 親水公園(厚真川河川敷地内)

ランタン祭り実行委員会主催の光のページェントinあつま(ランタン祭り)を開催します。皆さん、ランタンをつくってアイスクャンドルに一齐に灯がともる幻想的な世界を楽しんでみませんか。

光のページェントin
あつまを開催します

催し

・市街十字路を中心に道路両側にアイスクャンドル(ランタン)を5千個並べます。
・メイン会場の親水公園には、各団体が趣向を凝らしたアイスクャンドルが飾られます。また、かまぐらや滑り台をつくり、子どもたちにも楽しんでもらう予定です。
▼問い合わせ先
ランタン祭り実行委員会
・池川義厚
さん(表町)
☎7-2512
・森本国雄
さん(本郷)
☎7-2564



夜空に映える花火! スターフェスタ2005inあつま

町商工会青年部では、スターフェスタ2005inあつま「第6回冬の花火大会・『酉』の干支文字焼き」を開催します。

皆様のご来場をお待ちしています。

- ◆日時 2月3日(木) 午後7時00分開会
◆場所 こぶしの湯あつま
◆内容 ・厄払い豆・もちまき

年男、厄年の方に豆・もちをまいりいただき、鬼(疾病や災難)退治をしてもらいます。一般の方には、豆・もち(2000個)ひろいをさせていただきます。

・打ち上げ花火

真っ白い雪原を舞台にした、音と光の演出で2000発の花火を打ち上げます。打ち上げ開始は午後7時30分を予定しています。

・干支文字焼き

午後7時30分の予定で、こぶしの湯から見える雪原に2005年の干支(酉)の文字焼きをします。直線距離270mで、花火と干支文字焼きの共演が楽しめます。

・雪原に「酉」の炭文字

1月30日の予定です。干支文字の舞台となる雪原に、厚真産木炭を使い「酉」の炭文字を浮かび上がらせます。

・「酉」の干支文字フォトコンテスト

雪原に映える「酉」の干支文字が入った写真を写し、応募していただいた中から入賞者に豪華景品を贈呈します。

・あつま汁などの提供

あつま汁(ぶた汁)、大人には樽酒を無料提供します。

◆問い合わせ先 町商工会(☎7-2456)

2月の運転免許証更新時講習の日程

苫小牧交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。

◆午前10時開講: 1日(火)、2日(水)、4日(金)、8日(火)、9日(水)、15日(火)、18日(金)、22日(火)、23日(水)、25日(金)

◆午後1時30分開講: 3日(木)、17日(木)

◆午後3時30分開講: 10日(木)、24日(木)

※このほかの講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

※優良は5年以上継続して免許のある方で、過去5年間無事故・無違反の方。

■問い合わせ先 (社)苫小牧地区交通安全協会(☎0144-33-1458)



さとう いぶき
佐藤 唯楓ちゃん
H 15・7・1 生
父一雄 一さん
母一起 子さん
(表 町)

●— わが家のアイドルはこんな子です。—●

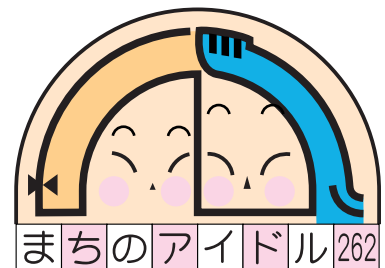
「表情豊かで、一瞬芸もいろいろできますよ。食欲あつ盛で特に納豆ご飯が大好きなようです。お兄ちゃんのマネばかりしているので、言葉とか覚えるのも早かったんですよ！」



とうがし けん と
藤樫 健人く ん
H 15・7・22 生
父一 学 さん
母一 ゆかりさん
(上厚真)

●— わが家のアイドルはこんな子です。—●

「誰にでも愛想をふりまいているので、買い物に行くとなかなか前に進めません。音や音楽に敏感で、音楽が流れるとノリノリで踊っていますね。車のおもちゃがとても好きだそうです」



2005 年 1 月
NO. 629

12 月 15 日現在の人口
5,255人(前月比 - 3)
男 2,569人／女 2,686人
世帯数 2,008

■今月の表紙

「本郷いこいの森」の遊歩道丘から、厚真中学校付近に昇る旭を撮影。今年も、マチと町民の皆さんにとってよい年となりますように。

発行／北海道厚真町

企画・編集／総務民生部総務課広報広聴係

〒059-1692 北海道勇払郡厚真町京町120番地

☎(01452)7-2321

ホームページ <http://www.town.atsuma.hokkaido.jp/>

メールアドレス atsuma@town.atsuma.hokkaido.jp